



## 研修の様子を紹介します

### 危機管理講座（10月19日～26日）

本講座は、危機管理体制の整備や防災教育の充実を図ることを目的として、令和元年度からすべての学校の管理職を対象に行っている割当研修です。

今年度は、約1週間の期間中に受講者自身で研修時間を設定し、自校で研修用動画を視聴するオンデマンド型の研修として実施しました。

受講者は、独立行政法人教職員支援機構の「リスクマネジメント」についての講義、県教育庁保健体育課の「危機管理マニュアルの見直し」についての講義を動画で視聴し、自校の危機管理体制の見直しを図りました。また、大地震発生を想定した演習動画を見て、地震発生直後の対応や地震後に予想される事態をシュミレーションしながら、自校の危機管理マニュアルを確認する演習を行いました。

昭和39(1964)年6月16日 新潟地震 昭和大橋  
写真や記録は新潟地方気象台ホームページより



演習動画の様子

### 受講者の声

1日ではなく数日に分けて受講でき、また動画も繰り返し見て確認できたので、大変受講しやすい研修だった。

危機管理の重要性、学校の備えなどについて、自分の知識や意識を更新していく必要があることを強く感じた。

### 感情をコントロールする力と社会性を育てる生徒指導講座（2日目）

本講座は、児童生徒の豊かな感情と社会性の育成、親和的な集団作りなど、学校現場で活用できる生徒指導の方法について理解を深め、基本的な技能の習得を図ることを目的として、小・中・高・特別支援学校教諭および養護教諭を対象に行っている研修です。受講者は、法政大学文学部心理学科渡辺弥生教授より「ソーシャルエモーショナルラーニング」の内容と児童生徒への具体的な指導方法に関し御指導いただき、感情表現のワークを体験しました。また、昨年度受講者2人の実践発表と、受講者自身の授業実践のグループ協議を行い、複数の校種での指導の様子を共有しました。実践に用いた教材やワークシートを共有し、発達段階に応じた指導を検討する機会となりました。



感情表現のワークを体験



授業実践の発表と協議

### 受講者の声

ワークで、いかに自分が語彙力や表現力がないかを痛感しました。まずは、自分自身の感情表現を豊かにできるようにしていきたいです。

他校種の実践を聞き、とても勉強になりました。手順やワークシートを自分の授業にも取り入れたいです。実りの多い時間になりました。